

菊池支援学校高等部山鹿分教室新校舎完成と山鹿講座の取組

1 山鹿分教室の概要

本分教室は、平成26年4月、県立鹿本商工高校内に開設しました。山鹿地域で初めての特別支援学校の高等部分教室です。

対象は、知的障がいのある生徒で、平成28年度の在籍生徒数（普通科一般学級）は、1学年9人、2学年8人、3学年5人の合計22人です。生徒は、山鹿市内に限らず、菊池市、和水町、熊本市、合志市からも自力通学しています。

山鹿地域との交流を深めるために、「山鹿講座」の時間に、多くの地域の方を招へいしています。また、鹿本商工高校との交流では、歓迎遠足、商工体育大会、商工フェスタ、長距離走大会等の行事に積極的に参加し、授業での交流については、鹿本商工高校の5学科と、年1回ずつ実施しています。



(鹿本商工体育大会への参加)



(商工フェスタへの参加)



(機械科との花壇作り交流)

2 山鹿分教室の新校舎完成

山鹿分教室の開設から2年間、鹿本商工高校の商業センター棟1階部分を教室として仮住まいをしてきました。

このたび、鹿本商工高校のセミナーハウスの改修工事が平成27年8月から開始され、分教室新校舎として、平成28年3月に竣工したところです。

○ 生徒の新校舎への思い

工事期間中、定期的に生徒たちは、セミナーハウスの工事の進行を見学しました。鉄筋やコンクリート廃材がある現場から、徐々にきれいに内装が施され、空調、電気関係が完備されていく経過を見て、生徒の中には、「自分たちのために改修していただくことに感謝します。」と感想を述べる生徒もいました。3学年が揃う今年の4月からの生活に思いをはせながら、新しい分教室の歴史をつくり上げていくという意気込みを持つ生徒たちです。

○ 地域の方の内覧会

新校舎は、鹿本商工高校グラウンドの南端に位置し、複数の住宅が敷地に隣接しています。そこで、近隣住民の方にも是非校舎内を見ていただき、地域と共に育つ分教室という思いを伝えるために、3月中旬に、地域住民対象

の内覧会を開催しました。

○ 完成披露会

7月20日(水)には、県教育委員会、山鹿市教育委員会、手をつなぐ育成会をはじめ、多くの関係者の方々をお招きしての、完成披露会を実施しました。



(階段周辺の内部風景)



(正門からのアプローチ)



(鹿本商工高校グラウンドから遠景)

3 山鹿講座の取組

総合的な学習の時間「山鹿講座」では、学期に1回、地域文化の理解という目的で、地域の名人を招へいし、伝統工芸品に関する講話や体験等の学習に取り組んでいます。1学期は、「来民渋うちわ」についての講話、2学期は「布草履作り」、3学期は「山鹿灯籠作り」を実施しました。

山鹿灯籠作りでは、山鹿市内の豊前街道沿いに店を持つ中島様を招へいし、作り方の指導を受けました。紙でできた骨組に、部品の型紙を貼り合わせていく作業です。灯籠の内部から部品を貼り付けるときにはピンセットを使ったり、紙を曲面にするときには手のひらに部品をのせ、その上に棒を置いて滑らせたりする手法が必要です。生徒たちは、細かい作業に一生懸命に取り組み、指先に気持ちを集中して、2時間程度で完成することができました。このような伝統工芸の学習をとおして、地元地域の文化を知り、理解を深め、地元を誇りを持つ豊かな心を育むことにつながるものと考えます。

